

- A：「高松市地域公共交通再編実施計画（案）」
 B：「ことでん新駅（三条～太田駅間）基本計画（案）」
 C：「ことでん新駅（太田～仏生山駅間）基本構想（案）」

に係るパブリック・コメントの実施結果

多くの御意見をいただきましてありがとうございました。

本市では、平成28年2月22日（月）から3月11日（金）までの期間、「高松市地域公共交通再編実施計画（案）」、「ことでん新駅（三条～太田駅間）基本計画（案）」、「ことでん新駅（太田～仏生山駅間）基本構想（案）」についてのパブリック・コメントを実施しました。

皆様からいただきました御意見の要旨及び市の考え方を、下記のとおりまとめましたので、公表いたします。

記

1. いただいた御意見等の件数 21件（13人）
 2. いただいた御意見の要旨とそれに対する本市の考え方

※提出いただいた御意見等は、趣旨を変えない範囲で簡素化又は文言等の調整をしているものがあります。

※高松市地域公共交通再編実施計画（案）等への御意見等につきまして、考え方をお答えします。

それ以外の御意見につきましては、担当課等にお伝えしております。

No	御意見（要旨）	市の考え方
(1) A	ことでんバス川島線（レインボーフジグラン十川）を高田駅と太田駅に接続し、循環バスにしてほしい。また、フジグラン十川から学園通り駅又は、医大を経由し、高田駅へ結ぶバス路線を新設してほしい。	本市のバス路線網は、多くのバス系統が郊外から中心部までを放射状に運行しているため、鉄道と並行して運行している区間も多く、運行距離も長いことから、将来、利用者数の減少により、サービス低下や廃線となる可能性もあります。このようなリスクを軽減し、持続可能な交通体系の構築に向け、鉄道新駅等を結節するフィーダー交通への再編は、有効な手法であると考えております。 現段階におきまして、直ちに、新たなバス路線の構想などを、具体的にお示しすることはできませんが、来年度以降、新駅の整備と併行し、具体的な公共交通ネットワークの再編案につきまして、交通事業者との協議・調整を図るとともに、市民の皆様の御意見もお伺いしながら、検討を進めてまいります。
(2) A	高齢化に伴い、バス路線が不足しているため、三木国分寺線を利用し、多肥仏生山地区と仏生山駅を結ぶバスを運行してほしい。 また、済生会病院、県立図書館、桜井高校、各駅等を結節したレインボー循環バスのようなループバスをコミバスでもいいので運行してほしい。	
(3) A	サンフラワー通りの気象台から東バイパス間に路線バスを運行してほしい。	
(4) A	新駅まで徒歩や自転車、コミュニティバス等で移動し、高松駅へ集中するバスが減る方がよい。公共交通機関を利用しやすくなり、マイカー移動が減少し、交通事故の減少につながるのではないかな。	
(5) A	バス路線再編にあたり、バス事業者を追い込まない手法をとってほしい。	

No	御意見（要旨）	市の考え方
(6) A	IruCa カードを所持していない、県外の方にも便利にするため、ことடன்・ことடன்バスで全国共通 IC カードが利用できるようにしてほしい。	ICカードの相互利用・片利用については、全国的な課題として国においても検討がなされており、今後、本市におきましても、県、交通事業者等の関係者間において、その導入の可能性について協議・検討を進めてまいります。
(7) A	長尾線の林道～花園間に駅を作ったほうが、利用が増え、バス路線も結節しやすいのではないかな。	ことடன்の新駅整備については、長尾線林道～花園駅間も含めた複数のケースを想定し、パーソントリップ調査に基づく費用対効果算出のほか、地域住民への効果、サービスレベル、コスト等の項目から比較検討した結果、三条～仏生山駅間に2つの新駅を整備し、併せて栗林公園～仏生山駅間を複線化する全体構想をお示ししているものです。
(8) A	高松空港から高松駅を結ぶ LRT を検討してはどうか。	LRT等の新交通システムについては、平成22年に策定した「高松市総合都市交通計画」にも掲げておりますが、都心地域（空港通り駅～高松駅間）においては、道路空間の再編を始め、投資に見合う交通需要の確保の見通しなどにおいて、様々な課題があると考えています。
(9) A	将来に向けて「路面電車」か「LRT」の必要性を改めて考え、実現してほしい。また、電車の運賃の見直し、運行環境の改善（警報機の音質、運行により発生する音量等）、バリアフリー化の推進等も併せて、取り組んでほしい。	平成28年度においては、BRT等の導入可能性について検討するため、バス路線沿線住民を対象とした意識調査を実施することとしております。 また、鉄道駅については、交通事業者において、順次、バリアフリー化工事など利用環境の向上に努めているところであり、電車の運賃の見直し、運行環境の改善（警報機の音質、運行により発生する音量等）、バリアフリー化の推進等につきましては、その趣旨を交通事業者にお伝えしたところです。
(10) A	四国八十八か所巡礼の公共交通網整備が必要ではないかな。	巡礼に対応した公共交通網の整備につきましては、広域的な公共交通ネットワーク整備であり、その必要性について関係機関と研究・調整してまいります。
(11) B C	新駅整備等に伴い、治安の悪化が懸念されるため、防犯カメラ及び交番の設置をお願いしたい。	新駅整備予定地の周辺住民を対象としたアンケート等においても、新駅整備に伴う治安面での対策を求める御意見等があり、交番の設置要望については、県警にその趣旨を伝えております。 御意見の趣旨も踏まえ、改めまして、関係機関と協議してまいります。

No	御意見（要旨）	市の考え方
(12) B	新駅周辺の市道は、路面整備状況が悪いため、駅整備に合わせ、全面改修をお願いしたい。また、当該道路は、狭隘であり、新駅整備後は、徒歩・自転車等の利用者が増加するとともに、自動車の渋滞による交通事故の増加が想定されるので、事故防止の観点から道路の拡幅や電柱の地中化、自転車・歩行者道の設置などの対策を計画に盛り込んでもらいたい。	新駅整備に当たっては、その効果が最大限に発揮されるとともに、周辺環境への悪影響を最小化するよう、詳細設計等において検討してまいります。 なお、交通安全対策につきましても、関連する部署や県警とも協議してまいります。
(13) B	ことでんが月極駐車場として利用している高架下のことでん所有地は、新駅の附帯設備に供するなど、公共の利益のために利用するよう指導してもらいたい。	今回の新駅の整備に関連し、必要な駅附帯施設等の整備につきましては、限られた用地を有効に活用する観点から、今後、ことでんと協議してまいります。
(14) B	国道を挟む南北地区間の交通の円滑化のため、橋上駅ホームの東西両側に国道を横断したペDESTリアンデッキを設置してもらいたい。	国道を跨ぐペDESTリアンデッキの整備については、整備事業費が多額となることや、想定する新駅の利用者規模等から設置する考えはございません。
(15) B	橋上駅のホームは、強風対策として、ホームドアの設置をお願いしたい。 また、新駅のホームは、広告の排除など、景観に配慮した美しいデザインで設計してもらいたい。	ホームドアの設置、景観に配慮した駅舎のデザイン及び危険物の投棄防止等につきましては、今後、駅舎の実施設計において、具体的に検討してまいります。
(16) B	新駅整備に伴い、危険物の投棄防止のための柵を設置してもらいたい。	

No	御意見（要旨）	市の考え方
(17) B C	工事中の騒音・振動等の対策を万全にしてほしい。	工事の実施に当たっては、施行事業者と連携し、必要な対策を講じてまいります。
(18) A B C	バス路線再編については、高齢者や障がい者などの交通弱者が利用しやすい、車両等のバリアフリー化が必要であり、弱者対策の施設等は、誰でも勝手に使えるようにしないでほしい。併せて、雨天時に配慮したバス待ち環境を整備してほしい。	本市においては、高齢者や身体障がい者等の全ての人にとって、移動しやすい利用環境の創出のため、車両のバリアフリー化、また、ベンチや上屋等のバス待ち環境の整備に努めているところです。今後とも、快適で利用しやすい公共交通体系の構築に努めてまいります。
(19) B	新駅の整備に伴い、高速バスが結節することから、観光客向けの観光案内所や、栗林庵のような土産物売り場やコンビニなども設置してほしい。	新駅は、重要な広域的結節拠点となることから、公共空間の有効活用に努めてまいりたいと存じます。
(20) B	新駅（三条～太田駅間）の名称は、「東バイパス」駅とするのが良いと思う。	新駅を整備した場合、駅名につきましては基本的には、鉄道事業者において命名しておりますが、御提案の内容は、鉄道事業者にもお伝えしたところです。
(21) A	バス路線の再編と併せて、精神障がい者保険福祉手帳の被交付者の運賃割引制度に対応したＩＣカードの新設が必要ではないか。	御提案の趣旨は交通事業者にお伝えしたところです。